

JCAS 連携研究成果報告 2

オセアニアの国家統合と国民文化

須藤 健一 編



2000

J C A S 連携研究成果報告は、国立民族学博物館地域研究企画交流センターを中心に推進している連携研究にもとづく成果を公開する刊行物である。連携研究は、国内の諸研究機関との協議のうえでおこなう共同研究プロジェクトを意味する。なお、この成果報告には、地域研究企画交流センターが主催した共同研究の成果も含まれている。

編集委員会名簿

| | |
|-------------|---|
| 刊行物審査委員会委員長 | 石毛直道 (国立民族学博物館長) 杉田繁治 (国立民族学博物館 副館長) 立川武藏 (国立民族学博物館 民族社会研究部長) 熊倉功夫 (国立民族学博物館 民族文化研究部長) 藤井龍彦 (国立民族学博物館 博物館民族学研究部長) 端信行 (国立民族学博物館 先端民族研究部長) 小山修三 (国立民族学博物館 民族学研究開発センター長) 松原正毅 (地域研究企画交流センター長) |
| 編集長 | 松原正毅 (地域研究企画交流センター長) |
| 編集委員 | 浅野透 (京都大学生態学研究センター 教授) 大芝亮 (一橋大学大学院法学研究科 教授) 大塚和夫 (東京都立大学人文学部 助教授) 渥野井茂雄 (南山大学外国語学部 教授) 加藤博 (一橋大学大学院経済学研究科 教授) 川勝平太 (国際日本文化研究センター研究部 教授) 木村喜博 (東北大学大学院国際文化研究科 教授) 後藤明 (東京大学東洋文化研究所 教授) 須藤健一 (神戸大学国際文化学部 教授) 立本成文 (京都大学東南アジア研究センター 教授) 内藤雅雄 (東京外国语大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授) 中川文雄 (城西国際大学人文学部 教授) 古川久雄 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 教授) 古田元夫 (東京大学大学院総合文化研究科 教授) 山田陽一 (広島大学大学院国際協力研究科 助教授) 山本真鳥 (法政大学経済学部 教授) 山田睦男 (地域研究企画交流センター 教授) 吉田集而 (地域研究企画交流センター 教授) 押川文子 (地域研究企画交流センター 教授) 臼杵陽 (地域研究企画交流センター 助教授) 大津留智恵子 (地域研究企画交流センター 助教授) 阿部健一 (地域研究企画交流センター 助教授) |

〔平成12年3月31日現在〕

JCAS 連携研究成果報告 2

オセアニアの国家統合と国民文化

須藤健一 編

2000

JCAS 連携研究成果報告 2

オセアニアの国家統合と国民文化

目 次

| | | |
|--|------------|-----|
| 序 文 | 須藤 健一..... | i |
| 序 論 島嶼国の今日的問題 | 須藤 健一..... | 1 |
| 第Ⅰ部 政治のかたち | | |
| 1. パラオの政治学 1947—1994 ——「合意の政治」の終焉—— | 遠藤 央..... | 11 |
| 2. ミクロネシア連邦ヤップ州の伝統的首長と政治統合 | 柄木田康之..... | 35 |
| 3. フィジー諸島共和国憲法と国家統合への道 | 橋本 和也..... | 61 |
| 4. トンガ王国の民主化運動 | 須藤 健一..... | 83 |
| 第Ⅱ部 経済のありかた | | |
| 5. 島嶼国と「民衆中心の開発」 ——ソロモン諸島におけるエコツーリズムの事例から—— | 閔根 久雄..... | 107 |
| 6. 極小島嶼国自立の比較研究 ——太平洋とカリブ海—— | 高橋 康昌..... | 131 |
| 第Ⅲ部 文化的表しかた | | |
| 7. カストムとカスタム ——オセアニアにおける伝統概念研究の批判的考察—— | 吉岡 政徳..... | 143 |
| 8. 第8回太平洋芸術祭調査に向けて | 山本 真鳥..... | 183 |
| 第Ⅳ部 近代化と医療 | | |
| 9. PNG の近代化と疾病構造の変化 ——感染症から成人病へ、そしてまた感染症—— | 稻岡 司..... | 201 |
| 10. ソロモン諸島国のマラリア対策と部族間紛争 | 川端 真人..... | 219 |

JCAS AREA STUDIES RESEARCH REPORTS 2

National Integration and National Culture in Micro States of Oceania

| | |
|--|--|
| Preface | i |
| SUDO Ken'ichi | Introduction : Some Aspects of Micro States in Oceania ... 1 |
| Part I Democratic Polity and Traditional Politics | |
| 1 . ENDO Hisashi | The End of the Politics of Negotiation and Consensus : From the Diachronical Study of Power in Palau from 1947 to 1994 11 |
| 2 . KARAKITA Yasuyuki | Traditional Chiefs and Political Integration in Yap State, Federated States of Micronesia 35 |
| 3 . HASHIMOTO Kazuya | Constitution of Republic of the Fiji Islands and Way to the National Unity 61 |
| 4 . SUDO Ken'ichi | Democracy Movement in Kingdom of Tonga 83 |
| Part II Sustainable Management of the Resources and Economic Development | |
| 5 . SEKINE Hisao | Pacific Islands and the Participatory Development : Case of Eco-tourism in the Solomon Islands 107 |
| 6 . TAKAHASI Yasuaki | Comparative Studies for Self-reliance of Small Island Countries : the Pacific Island Countries and Caribbean Island Countries 131 |
| Part III Creating Their Own Culture and the Representation of Tradition | |
| 7 . YOSHIOKA Masanori | Kastom and Custom : A Critique of the Anthropological Arguments on Tradition in Oceania 143 |
| 8 . YAMAMOTO Matori | A Framework for Research on the Eighth Pacific Festival of Arts 183 |
| Part IV Modernization of Society and the Change of Disease Pattern | |
| 9 . INAOKA Tsukasa | Modernization of Papua New Guinea and the Change in Disease Pattern : Recent Health Transition and Emerging/Reemerging Infectious Diseases 201 |
| 10. KAWABATA Masato | Malaria Control and Enhanced Ethnic Tension in the Solomon Islands 219 |

序 文

国立民族学博物館地域研究企画交流センターは、発足以来その事業の一環として、毎年「連携研究」と「共同研究」の研究プロジェクトを国内の主要な地域研究機関および地域研究者と協力して進めてきている。連携研究(*inter-institutional research project*)は、本センターと外部の地域研究機関との協定に基づき、内外2人の代表者をたてて推進する共同研究プロジェクトである。連携研究は、今のところ国立研究機関が行う研究組織としては、本センター独自の方式である。一方、共同研究(*joint research project*)は、本センターの研究者が代表者となり、センター内外の研究者の協力により、研究プロジェクトを行う方式である。

本書は、平成7年度に本センターと神戸大学国際文化学部との連携研究協定に基づき、平成9年度までの3年間にわたって行った連携研究「オセアニア島嶼国の国家統合と国民文化に関する研究」(研究代表者：吉田集而・国立民族学博物館地域研究企画交流センター教授；須藤健一・神戸大学国際文化学部教授、現国立民族学博物館地域研究企画交流センター客員教授)の成果である。研究プロジェクトは、国内の大学および研究機関に所属する24名のオセアニア研究者の協力によって組織された。

オセアニアの島嶼地域には、1962年の西サモア(現サモア)の独立を皮切りに、現在までに14の独立国ないし自由連合国が誕生している。これら島嶼国は、いずれも脱植民地闘争や独立紛争を経験すること無く、民族自立の国際世論や旧宗主国(政治・経済的事情)により独立の道を歩んできた。世界の政治・経済の中心から周辺に位置し、国土や資源に乏しく、かつ人口や経済規模が極小という性質から、ほとんどの国が、旧宗主国や先進国に國家の財政・経済援助や防衛上の保護を受けている。

本研究プロジェクトは、西欧の国民国家をモデルに国家建設を推進する過程で、伝統的な政治組織と近代的国家制度との接合、国民意識の高揚や国民文化の創造、域内連帯や国際関係の樹立という側面に焦点を当てて、マイクロステートの抱える今日的問題とその解決のための方策について検討することを目的としている。12回の研究会を開催し、国家統合と伝統的政治権力、開発政策と経済的自立、都市への人口集中と海外移住、伝統文化と文化政策、太平洋芸術祭と国民文化、近代化と医療事情などをテーマに32名の方々が報告し、議論を重ねた。

本書には、10名の研究者の論文を掲載しているに過ぎないが、執筆者をはじめ、研究会に参加し、積極的に議論を展開してくださった研究員の諸氏に心から感謝する次第である。

平成12年3月 編者